



2021年11月5日

各 位

会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社
代表者名 代表取締役 榊原 暢宏
(コード：2453 東証第一部・名証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 若月 光博
(TEL：052-212-9908)

取締役会の実効性評価の結果概要に関するお知らせ

当社取締役会は、東京証券取引所の定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能の向上を図ることを目的とし、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その概要を下記のとおり開示いたします。

記

1. 分析・評価の方法

本年は、新たに、社外役員を含む全ての取締役及び監査役に対し、第三者の視点から客観的に当社の位置づけを認識することを目的として、取締役会の構成、運営、議論、モニタリング機能、取締役・監査役に対する支援体制・トレーニング・株主（投資家）との対話等を質問項目として、外部機関による Web アンケートでの調査、回収、集計を行いました。

2. 分析・評価結果の概要

当社取締役会は、分析・評価の結果、概ね「取締役会の役割・責務を適切かつ実効的に果たしている」と結論づけました。

本年においては、取締役会に上程される議案について、資料や情報が分かりやすく整理・分析された形で提供され、建設的な議論や意見交換がなされている点につき、一定の評価がなされました。

他方で、コーポレートガバナンス・コードの改訂を踏まえた今後の課題として、経営戦略や経営計画の実行過程において予想される、グループ全体におけるリスク・危機管理体制に関する議論の充実化や、内部統制基本方針に基づく子会社の監督・監視体制の拡充、ESG への対応や SDGs への取組みに関する事項の経営戦略への反映などを確認いたしました。

3. 今後の対応等について

当社取締役会は、プライム市場への移行を見据え、上記の課題に積極的に取り組む中で、取締役会の一層の実行性向上に努めてまいります。

以上